

令和2年度

希望が丘高等学校一般入学者選抜試験問題

数 学

注意

- 1 監督者の開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから8ページまであります。
- 3 解答は、すべて解答用紙の所定の欄に記入してください。  
~~~~~
- 4 解答用紙の※印の欄には、何も記入しないでください。
- 5 監督者の終了の合図で筆記用具を置き、解答面を下に向け、広げて机の上に置いてください。
- 6 解答用紙だけを提出し、問題冊子は持ち帰ってください。



①～⑥の問題に対する解答用紙への記入上の留意点

- ・答えが数または式の場合は、最も簡単な数または式にすること。
- ・答えに根号を使う場合は、 $\sqrt{\quad}$ の中を最も小さい整数にすること。
- ・答えに円周率を使う場合は、 $\pi$ で表すこと。

# 1

次の(1)～(15)に答えなさい。

(1)  $3 - 4 \times (-1)$  を計算しなさい。

(2)  $\frac{2}{3} - \frac{1}{4} + \frac{1}{6}$  を計算しなさい。

(3)  $\sqrt{27} - \frac{6}{\sqrt{3}}$  を計算しなさい。

(4)  $3(2a+5) - 2(a-1)$  を計算しなさい。

(5)  $x = 4, y = -2$  のとき、 $3x - 2y^2$  の値を求めなさい。

(6)  $(2x+7)(x-3)$  を展開しなさい。

(7)  $x^2 - 5x + 6$  を因数分解しなさい。

(8) 1次方程式  $5x - 3 = 2x + 6$  を解きなさい。

(9) 2次方程式  $2x^2 + 3x - 1 = 0$  を解きなさい。

(10)  $y$  は  $x$  に比例し,  $x = 7$  のとき,  $y = -14$  である。 $x = 2$  のとき,  $y$  の値を求めなさい。

(11) 大小2個のさいころを同時に投げると, 出る目の和が6の倍数になる確率を求めなさい。

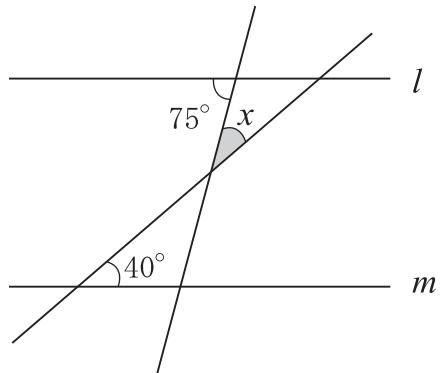
ただし, どの目が出ることも同様に確からしいものとする。

(12) 右の表は, ある学校の10人の生徒が砲丸投げを行った結果について度数分布表にまとめたものである。

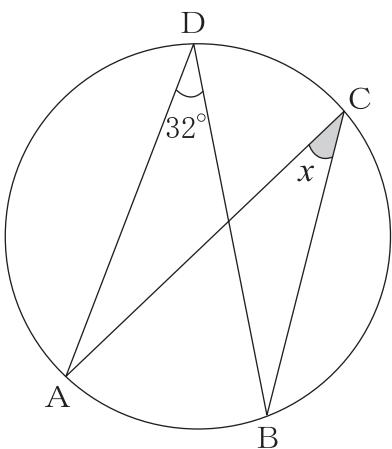
このとき, この10人の生徒の砲丸投げの平均値を求めなさい。

| 階級(m)          | 度数(人) |
|----------------|-------|
| 以上<br>4 ~ 6 未満 | 2     |
| 6 ~ 8          | 3     |
| 8 ~ 10         | 1     |
| 10 ~ 12        | 3     |
| 12 ~ 14        | 1     |
| 計              | 10    |

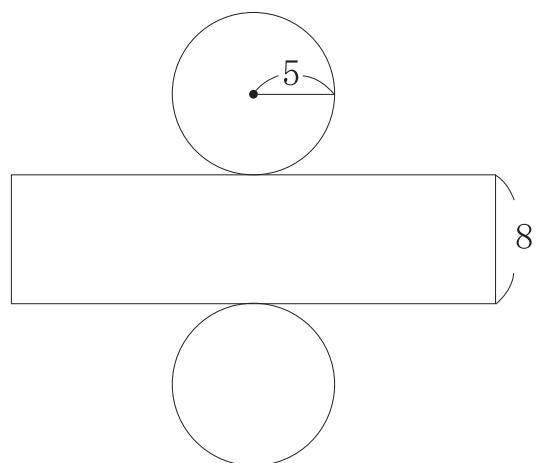
- (13) 右の図で、 $\angle x$  の大きさを求めなさい。  
ただし、 $l \parallel m$  とする。



- (14) 右の図で、 $\angle x$  の大きさを求めなさい。  
ただし、点A, B, C, Dは1つの円周上にあるものとする。



- (15) 下の図は、円柱の展開図である。この展開図を組み立てたとき、円柱の体積を求めなさい。



2

次の問い合わせに答えなさい。

1個100円のみかんと、1個150円の柿をあわせて10個買い、200円の箱に入れて、代金を1500円支払いました。みかんと柿をそれぞれ何個買いましたか。

下の□は上の問題を解くための連立方程式である。

(あ) □～(か) □にあてはまる最も簡単な数、または式を答えなさい。

みかんの個数を  $x$  個、柿の個数を  $y$  個とすると、

$$\begin{cases} x + y = \boxed{\phantom{00}} \quad (\text{あ}) \\ \boxed{\text{(い)}} x + \boxed{\text{(う)}} y + \boxed{\text{(え)}} = 1500 \end{cases}$$

これを解くと、 $x = \boxed{\phantom{00}} \quad (\text{お})$ 、 $y = \boxed{\phantom{00}} \quad (\text{か})$  である。

よって、みかんを  $\boxed{\phantom{00}} \quad (\text{お})$  個、柿を  $\boxed{\phantom{00}} \quad (\text{か})$  個買った。

3

「十の位の数が一の位の数より大きい2桁の正の整数がある。その十の位の数と一の位の数を入れかえてできる数をもとの数から引くと9の倍数になる。」ことの証明を□の中に記入しなさい。

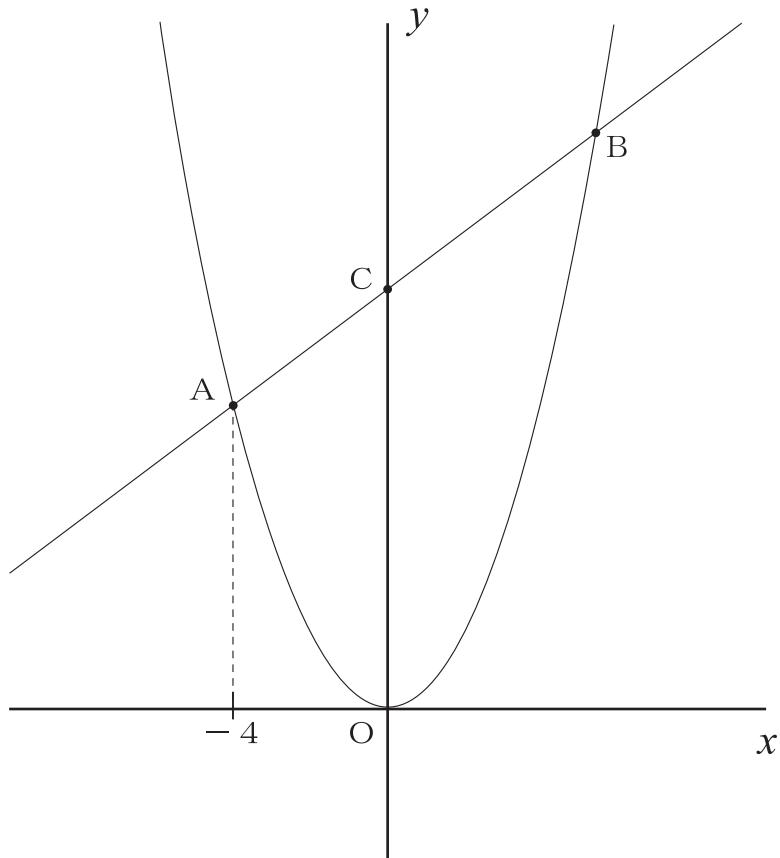
(証明) 十の位の数を $m$ , 一の位の数を $n$ とする。

よって,

十の位と一の位の数を入れかえてできる数をもとの数から引くと9の倍数になる。

4

下の図のように、関数  $y = \frac{1}{2}x^2$  のグラフ上に、 $x$  座標が  $-4$  となる点 A と、 $x$  座標が正の値である点 B をとる。また、2 点 A, B を通る直線と  $y$  軸との交点を点 C とする。



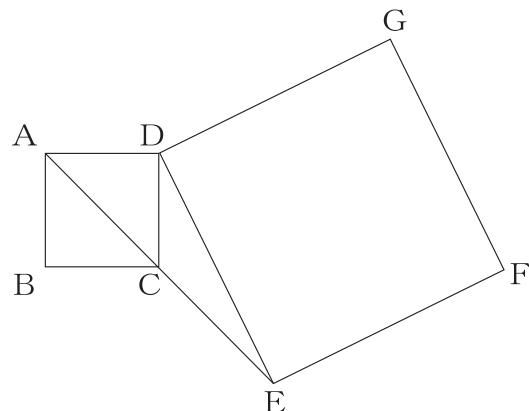
このとき、次の問いに答えなさい。

- (1) 関数  $y = \frac{1}{2}x^2$  について、 $x = 4$  のとき、 $y$  の値を求めなさい。
- (2) 関数  $y = \frac{1}{2}x^2$  について、 $x$  の変域が  $-1 \leq x \leq 3$  のとき、 $y$  の変域を求めなさい。
- (3)  $AC : CB = 2 : 3$  のとき、点 B の座標を求めなさい。  
また、直線 AB の式を求めなさい。
- (4) 点 A の  $y$  座標と点 B の  $y$  座標の差が 6 のとき、点 B の座標を求めなさい。  
また、 $\triangle OAB$  の面積を求めなさい。  
ただし、直線 AB の傾きは正の数とする。

5

右の図のように、正方形A B C Dの対角線ACの延長上に点Eをとり、DEを1辺とする正方形D E F Gをつくる。このとき、次の問い合わせに答えなさい。

- (1)  $\angle CED = 15^\circ$  のとき、 $\angle CDE$  の大きさを求めなさい。



- (2)  $AE = CG$  であることを次のように証明したい。 (あ) ~  (お) にあてはまるものを語群①~⑯から選んで番号を書き、この証明を完成させなさい。

(証明)

$\triangle AED$  と  (あ)において

仮定より

$$AD = \boxed{\text{い}} \quad \dots \dots \text{①}$$

$$ED = \boxed{\text{う}} \quad \dots \dots \text{②}$$

また、

$$\angle ADE = 90^\circ + \boxed{\text{え}}$$

$$\angle CDG = 90^\circ + \boxed{\text{え}}$$

よって、2つの角は等しくなるので

$$\angle ADE = \angle CDG \quad \dots \dots \text{③}$$

①, ②, ③より、 (お) ので、

$$\triangle AED \equiv \boxed{\text{あ}}$$

したがって、 $AE = CG$  である。

(語群)

①  $\triangle CDG$

②  $\triangle CGD$

③  $\triangle CEG$

④  $AB$

⑤  $CD$

⑥  $BC$

⑦  $FG$

⑧  $EF$

⑨  $GD$

⑩  $\angle CED$

⑪  $\angle CDE$

⑫  $\angle DCG$

⑬ 3組の辺がそれぞれ等しい

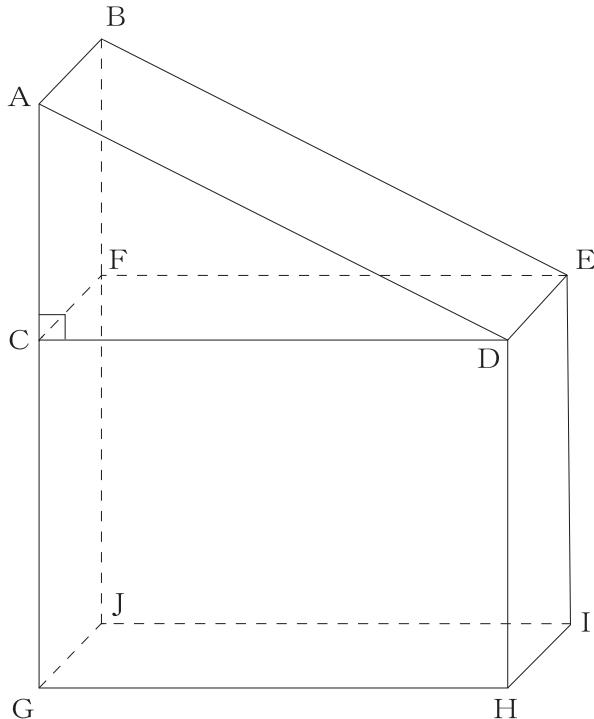
⑭ 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい

⑮ 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい

6

下の図は、直方体に三角柱を積み上げた立体である。

また、各立体の頂点をA, B, C, D, E, F, G, H, I, Jとし、 $AB = 3$ ,  $AC = 4$ ,  $CG = 6$ ,  $GH = 8$ ,  $\angle ACD = 90^\circ$ とする。



このとき、次の問いに答えなさい。

(1) 次の(ア)～(オ)のうち、面GHIJと垂直な辺はどれですか。

記号を選び、すべて答えなさい。

(ア) 辺CD

(イ) 辺EI

(ウ) 辺AD

(エ) 辺AB

(オ) 辺BF

(2) この直方体に三角柱を積み上げた立体の体積を求めなさい。

(3) 辺GHの中点をK、辺IJの中点をLとする。線分AKと線分CDの交点をM、線分BLと線分FEの交点をNとする。

このとき、立体AB-CMNFと立体CMNF-GKLJの体積比を求めなさい。

(4) この2つの立体が離れないようにひもをかけようと考えた。頂点G, Jを通り、辺AD, 辺BDと交わるようにひもをかける。

このとき、最も短くなるひもの長さを求めなさい。

ただし、ひもはゆるまないようにかけ、ひもの太さは考えないものとする。